

働き方改革を  
推進!

## 独自の業務管理システムで人員配置を最適化し、業務効率アップ

### 造園工事から北本さくらまつりまで

株式会社矢口造園では、住宅や公共施設等の造園工事、公園管理業務の2つの事業を営んでいます。『緑化を通して地域社会に心の豊かさ、安らぎを提供する』ことが経営方針です。設立から50年を数え、令和元年に社長に就任した矢口光太郎氏は3代目です。公園管理業務は平成18年に始めた新事業で、現在は北本市から全91都市公園の維持管理を任されています。その一つの高尾さくら公園で開催される「北本さくらまつり」(30種もの桜で有名)等のイベント主管もその業務の一つです。

樹木の剪定等の肉体労働が多いものの、従業員のうち女性は2割、シニアは4割をそれぞれ超え、人材は多様です。1日の仕事の流れとしては、全社員で朝礼を行った後、各現場(庭園等)に分かれて車両で行き、作業を行うのが通常です。

### 隣の現場が目に入らなかった

同社は事業拡大に伴って現場数が増え、

予定は本社のホワイトボードに掲示していたものの、誰も他の現場のことまでは見ず、関心も払いませんでした。現実には、早く終わって手持ち無沙汰となる現場もあれば、夜遅くまで作業する現場もあり、業務量に大きな差が出ていました。結果、後者の従業員がひたむきに頑張るほど残業が増え、年次有給休暇も取りづらい状態が続いていました。

### システムで人員の配置見える化

この現状を改善しようと既製の管理ソフト導入を検討しましたが、同社に合ったものが見当たらず、平成30年にオリジナルのシステム開発をすることになりました。出来上がった「人員車両配置システム」では、どの現場にどの人員・車両を配置するか(したか)が明確になりました。さらに、クラウドサービスを使い、従業員がその情報をいつでも各自の携帯端末で見えるようにしました。各自に携帯手当を月数千円支給しています。システム外注による開発期間は3か月、開発コストは数百万円でした。

### トップダウンでシステムの導入を推進

システム導入に当たって、トップダウンの推進体制を取りました。「誰が、いつまでに、何を実施するか」を定め、進捗を徹底的に管理しました。強力なリーダーシップにより、混乱はほとんどありませんでした。一方、運用に関しては、ボトムアップの要素も取り入れています。風が強いと作業を止めるなど予定変更が頻発します。また、「現人員では作業の80%しか進捗しないが、Aさんが入ればちょうど完了する」といった現場の細やかな判断が効率化には重要となります。そこで、打合せを密に行い、みんなの力で計画を柔軟に修正しています。

### 残業は大幅減、有休取得は3倍増に

以前は当日の予定を朝確認するだけでしたが、今では1か月先の予定や1年前の実績にも、いつでもアクセスし確認できるようになっています。これは、現在・過去・未来データの「可視化・共有化」です。その結果、早く終わった現場から残業が出そうな現場への移動(応援)も事前に準備でき業務の「平準化」が進みました。全体効率が上がリ、残業は一人当たり月約6時間減って、年次有休休暇の取得は約3倍(3か月に1回→毎月1回)になりました。会社の休日でも年12日増やしました。さらに、助け合いの風土が醸成されたからか、この1年は離職者がほとんど出ることなく、採用も順調です。

### 熱中症対策で本格的な製氷機も活躍

ただ、システム導入だけでは生産性は向上しません。他現場を応援するにも、従業員

の幅広いスキルが必要です。同社はスキル習得を奨励しており、造園施工管理技士や公園管理運営士等の資格保有者は延べ44名になりました。この多能工化を更に進めます。

また、従業員の健康も重視しています。インフルエンザ予防接種の全額補助も数年前から始め、大半の従業員が受け好評です。熱中症対策では、業務用の本格的な製氷機を設置して溶けにくい氷を支給し、従業員が日中の長時間、保冷と水分補給を快適に行えるようにしています。平成30年度の県の働き方見直しの奨励金で空調服も導入しました。他にも、昼食弁当の現物支給等を行っています。

### カスタマイズは継続的に

システムを使いやすくするのが今後の課題です。最近では、「工事完了日」の項目を加え、「天気予報サイト」や「Googleマップ」をリンクしています。後者は道順や写真で現場の状態が確認でき、重宝しています。また、ネット環境を活用し、「ビジネスチャットツール」の利用も開始しました。迅速な情報伝達と共有に活用しています。効果を検証しながらシステムのカスタマイズを継続し、これからも業務改革を進めていきたいと考えています。

矢口光太郎社長

事業概要：造園土木工事・公園管理運営業務

会社概要 社長・代表者名：矢口 光太郎 本社所在地：埼玉県北本市古市場 2-266

設立：昭和44年12月 資本金：1,000万円 従業員：65名